



街路樹アメリカフウの衰弱は除草剤が原因

～今後の育成状況を経過観察していきます。～

- 6月中旬の道路パトロールで、国道159号金沢市桜町地先の街路樹アメリカフウ8本の生育異常を確認しました。
- アメリカフウの幹や枝葉を採取して検査機関で検査したところ、除草剤に使用される「グリホサート」が検出されたため人為的被害の疑いがあります。
- 樹木医から、「グリホサート」によりアメリカフウは衰弱しているが、現時点において倒木の恐れはないとの診断を受けたため、来春の芽吹き状況等、今後の育成状況を経過観察していきます。

1. アメリカフウの状況

アメリカフウは昭和40年代後半から50年代前半にかけ、兼六園下から田井町交差点間の沿道両側に植えられたものであり、現在の木の高さは約10mあります。

衰弱したアメリカフウは、発芽時期当初から異常があったと推測され、6月中旬に確認した時点では葉が極端に少ない状況でした。

衰弱したアメリカフウに近接して植えられているヒラドツツジの一部にも、アメリカフウと同様な生育異常が見られます。

2. 生育異常確認後の対応

- ①生育に異常が見られる木に活力剤を投与。
- ②周辺の土壌調査及び生育に異常が見られる木の幹や枝を採取し、検査機関へ検査を依頼。
- ③土壌検査の結果では有害物質は検出されなかった。
- ④幹及び枝の検査の結果、除草剤に使用される「グリホサート」が検出された。
- ⑤樹木医に診断を依頼。

3. 今後の方針

同様な被害を受けていないか、日常の道路パトロールで重点的に点検します。

アメリカフウは、衰弱してはいるものの一部には葉や芽が生えているため、来春の芽吹き状況を観察します。

芽吹き状況を観察した結果、やむを得ず伐採することになった場合は、地域の方々の意見を聞きながら再植樹等を検討します。

なお、現時点においては倒木の恐れは無いと思われませんが、今後経過観察していくなかで倒木の危険があると判断した場合は伐採します。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

金沢国道維持出張所長 大下 陽一

Tel: 076-238-5071

別紙

【写真①】

国道159号を田井町交差点方向に向かって撮影 【H21.6.撮影】

写真左側のアメリカフウが連続して生育異常



【写真②】

近接したヒラドツツジの状況

(アメリカフウの根元)

